

(公社)日本ホッケー協会中学校部会



第1回常任委員会議事録

期 日: 令和5年5月21日(日) 9時00分～15時00分

会 場: YIC 京都工科自動車大学校 TEL075-371-4055

京都市下京区油小路通塩小路下ル西油小路町 27

参加者(敬称略)

中学校部会会長: 井上英次(岡山県:岡山市立瀬戸中学校長)

中学校部会顧問: 馬場治男(埼玉県:飯能市教育委員会)

中学校部会事務局長: 久保克敏(京都府:京丹波町立瑞穂中学校)

競技部長: 鈴木良子(兵庫県:篠山市立丹南中学校)

審判部長: 尾木典隆(奈良県:桜井市立桜井西中学校)

U15 海外遠征事務局: 幸田伸也(奈良県:大和郡山市立郡山南中学校)

吉原荘二(宮城県:多賀城市立東豊中学校)

常任委員: 曾根原隆太(東北)、佐々木亮太(関東)、柳生香奈(北信越)、山本誠(東海)

山田享平(近畿)、道端良之(中国)、川原篤(四国)、石井幸美(九州)

第53回全日本中学生ホッケー選手権大会実行委員会

矢部貴俊(岡山県)

常任委員会

・ 構成員: 17名

・ 出席者: 15名

規約第6章第19条二則り本会
は成立

文責: 久保克敏(事務局長)

1 開 会

2 あいさつ

会に先立ち、(公社)日本ホッケー協会中学校部会会長 井上英次(岡山県瀬戸中学校 校長) 様にご挨拶いただく。

3 参加者紹介

4 協議事項

(1) 令和5年度中学校部会役員について・・・・・・・・ (事務局) 別紙資料 1

- ・ 2年任期を基本とするが、人事の都合などでその通りにはなっていない。基本的には各ブロックの意向を尊重している。
 - ・ 会長・・・今年度全中大会開催地より井上英次校長（岡山県瀬戸中）先生にお願ひし、了承いただく。
 - ・ 副会長・・・次年度全中大会開催地より山田茂晴校長（富山県蟹谷中）先生にお願ひし、了承いただく。
 - ・ 常任委員、専門委員の交代について確認
- ※今年度から四国ブロックに常任委員、専門委員をお願ひすることとなった。
- ※今年度より部活動地域移行等様々な変化がある中で、日本ホッケー協会及び日本中体連にも精通されておられる馬場治男氏に顧問をお願ひし、サポートをいただく。

(2) 第53回全日本ホッケー選手権大会について・・・・・・・・ (大会実行委員会、事務局)

- ・ 「実施要項」「競技運営規程」「会場関係」その他の検討
 - 今年度は全国委員会、監督会議、開会式を対面でおこなう方向で確認した。今後のコロナの状況次第で再度検討する場合もある。
 - 競技開始時刻は、地域の状況等を考慮し9時30分から開始する。
 - 全中大会の監督会議には、代表者ではなく必ず監督が出席することを確認する。
- ・ 宿泊・弁当要項について
 - 保護者の宿泊については、斡旋しないことを確認。
 - 宿泊施設については、朝食・夕食有の宿泊施設を優先して確保したが、すべての宿泊先で実施することはできなかった。

*全中大会および11人制大会の宿泊についての留意事項

- ・ 大会期間中については、必ず大会事務局を通して宿泊申し込みをする。
(クラブチームについても同じ)
- ・ 弁当については、以前より希望制としている。
- ・ 全中大会では大会初日(開会式の前)に公式練習を設ける。

・ 各ブロック参加枠数の最終確認

	北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州	開催地	優勝枠	合計
男子	0	3	4	3	2	4	3	1	2	1 岡山	1 中国	24
女子	0	3	4	4	1	4	3	1	2	1 岡山	1 北信越	24

- ・ 全国大会シード権（組み合わせ抽選）及び決勝トーナメントの組み合わせ抽選の確認
 全国大会のシード権について やり方：確認（シードが9チームの場合）
 - ①前回の全中でベスト4に入った府県ブロックを先に分ける。
 - ②その後、各ブロックのシード校をランダムに抽選する。但し、予選会を行わずに全中に参加をしている府県はシード扱いをしない。

よって、1つのブロックの中にシード校が2つの入る所ができる。

具体的には・・開催地枠と今年度のベスト4に入ったブロックは、同ブロックにシードチームが2つ入らないように抽選をする。

令和4年度男子ベスト4 優勝：横田（中国）準優勝：朝日（北信越）3位：織田（北信越）川口・一方井（東北）
R5開催地枠 岡山（中国）

令和4年度女子ベスト 優勝：石動（北信越）準優勝：今市・落合（関東）3位：東原（関東）、伊吹山（近畿）
R5開催地枠 岡山（中国）

上記結果により、令和5年度の男子については、開催地枠（中国：岡山）と中国ブロック、北信越ブロック、東北ブロックの1位と開催地枠ブロックの4チームについては、先に抽選を行い、この4チームについては同一ブロック内に入らないようにする。その後、他ブロックの1位を抽選する。女子も同様に行う。

・決勝トーナメントの組み合わせ抽選

決勝トーナメントの組合せについては、今年度も全ての予選リーグの試合が終了した時点で抽選を行う。

・遠方の宿泊先、交通手段等どうしても決勝トーナメント組み合わせ抽選に参加ができない場合は、代理抽選については本年度もおこなう。

別紙資料 2

(3) 競技部・審判部より・・・・・・・・・・（競技部：鈴木、審判部：尾木）

＝競技部より＝

○今年度の全国大会に向けて以下のことを検討した。

・全国大会での6人制クォーター制の導入について

今年度の全国大会は、予選リーグ、決勝トーナメントともにクォーター制を導入する。

時間は、7-1-7-5-7-1-7

※第1（3）クォーターと第2（4）クォーターの間は給水のみでコーチングはできない

※TDに確認し、決定

＝審判部より＝

・シュートアウト戦（S0）の開始線と規定タイム

全中大会については、ゴールラインからフィールド中央の16m地点に引かれたライン上にボールを置いて開始する。S0は6秒以内にボールが完全にゴールラインを通過した時に得点が認められる。

・ペナルティーコーナー（PC）について

守備側はゴールキーパーを含めて4名以下のプレイヤーが、バックラインの後方に位置し、残りの守備側のプレイヤーは、相手チームのバックラインから16m以内にはいなければならない。

※TDに確認し、決定

(4) 令和4年度「事業報告」「収支決算報告」・・・・・・・・・・（事務局 会計）

別紙資料 3、4

異議なく承認される。

(5) 令和5年度「事業計画(案)」「収支予算書(案)」・・・・・・・・・・（事務局）

＝「事業計画」＝

資料 5、6

・ブロック大会日時と会場の確認

＝「収支予算書」＝

令和4年度末に海外遠征積立金を作り、120万円を積立

今年度の海外遠征で積立金を運用する。

U15 海外遠征への補助：120 万（中学校部会「R5 個人登録料」より）

※補足

- ・全中大会補助金：180 万（日本ホッケー協会より）
- ・11 人制大会：120 万（日本ホッケー協会より）

(6) 中学校部会協力金「個人登録料」の納入について・・・（事務局）

資料 7

=個人登録料を始めた経過=

*H24 年度全国委員会(H24.8.17.)において、今後も継続的に U15 海外遠征を続けていくにあたって、引率スタッフの自己負担を軽減するための補助金として、中学校部会「協力金」の値上げすることで同意を得た。

*なお、具体的な金額等について検討(H24 第 2 回常任委員会、H25 第 1 回常任委員会にて)した結果、選手 1 人に対して登録料として協力してもらうことが、公平感があり良いという結論に至った。

*H25 年度全国委員会(8/16)にて承認され、中学校部会として登録料を徴収することとなった。

*令和 5 年度の「登録料」徴収について

- 1) 各常任委員から、ブロック内各チームに「個人登録料」の納入について連絡
- 2) 併せて、常任委員は、ブロック内各チームの 6/1 現在の部員数を調査し事務局に報告
※報告先=事務局会計：阿部
- 3) 別紙「資料 7 と 7-2」の要領にて、各チームは 6/30 までに登録料を納める
- 2) 各常任委員は、納入の滞っているチーム等に催促をする

(7) 全国大会内規事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（事務局）

・合同チーム編成条件の再確認

資料 8

・北海道の参加はなし

・R5 年度以降の全中大会開催地について

R5：四国ブロック→中国ブロック岡山県で開催

R6：北信越ブロック富山県で決定、R7：九州ブロック、R8：中国ブロック

R9：近畿ブロック、R10：関東ブロック、R11：東海ブロック

※令和 5 年度中に令和 7 年度の全中開催地の内定を目指す。

R7 年九州ブロックについて、本年度中に内定、決定へと進めたい。

(8) 合同チームの承認について (事務局)

・男子(昨年度12)チーム、女子(昨年度9)チームが申請 《申請状況 5月15日現在》
以下の学校を承認した。

ブロック	男子	女子
東北	福島(棚倉11・塙1・郡山ザベリオ1) 山形(川西14・米二5)	宮城(築館7・栗原西3) 山形(川西10・米五1)
関東	栃木(大沢11・落合5)	なし
北信越	なし	富山(大谷11・津沢5)
東海	なし	なし
近畿	京都(蒲生野7・瑞穂5) ※1兵庫(篠山6・篠山東2・丹南13)	京都(瑞穂12・蒲生野3) 兵庫(篠山4・丹南8)
中国		山口(玖珂6・高森みどり5) 岡山(磐梨11・吉井1)
四国	なし	なし
九州	なし	なし

- * 学校長の承認は必要 . . . 学校管理下による大会実施を守る
- * 教員(部活動指導員府含む)による引率は必ず必要である
- * 合同チームとして認められる範囲は . . . 活動実績のある4チームまで (R3.4.19承認)

※1「日本ホッケー協会中学部会合同チーム参加規程」2. 合同チームの条件の(2)「各都道府県中学校体育連盟に加盟しているチームは、各県の合同チームに関する規定(規約)等に則り編成されたチームであること」に準じているため許可される。

(9) 地域クラブ活動の全中大会出場の承認について 《申請状況 5月15日現在》

以下のクラブチームを承認した。

ブロック	男子	女子
東北	岩手 岩手U-15ホッケークラブ(19) 青森 青森県中学生ホッケークラブ(8)	岩手 岩手U-15ホッケークラブ(26) 青森 青森県中学生ホッケークラブ(11)
関東	埼玉 飯能ジュニアホッケークラブ(12) 東京 フリークス東京U15(7)	埼玉 飯能ジュニアホッケークラブ(11) 東京 フリークス東京U15(7)
北信越	なし	なし
東海	愛知 NPO法人愛知スポーツクラブ(11) 岐阜 可児UNIC FHSC(16) かかみがはら蘇原稲羽那加クラブ(10) かかみがはら中央クラブ(9)	岐阜 かかみがはら中央クラブ(10) かかみがはら那加稲羽クラブ(8)
近畿	なし	なし
中国	広島 Hiroshima Buena Vista HC(19) 岡山 瀬戸ホッケークラブ(9)	鳥取 鳥取ホッケークラブ(7)
四国	香川 綾川ホッケークラブ(12) 愛媛 松前ホッケークラブ(10)	香川 綾川ホッケークラブ(4) 愛媛 松前ホッケークラブ(9)
九州	大分 大分アスリートホッケークラブ(20) 佐賀 伊万里ホッケークラブ(12)	大分 大分アスリートホッケークラブ(18) 佐賀 伊万里クラブ(9) 長崎 川棚ホッケークラブ(7)

※チーム登録した選手が、他のチームに移動する（追加登録）は認めていないが、新規に登録することについては可能であることを確認した。その場合は、様式2に新規登録をした選手を追記して速やかに事務局へ提出すること。

(10) エリートアカデミーについて・・・（（J-STAR担当）馬場）

- ・担当者より昨年度の総括を受けて、今年度のエリートアカデミー事業への参加人数を増やせるように検討する提案があった。異論なく承認された。

(11) 第24回全日本中学生都道府県対抗11人制ホッケー選手権大会について

- ・日程：令和5年11月11日（土）、12日（日）
- ・福井県で2年間延長（R4、R5）今年が最終年度
- ・大会参加費40,000円（R4に10,000円増額）
- ・大会出場選手、スタッフ（監督、コーチ）の事前確認（資格審査）やプログラム作成に中学校部会が協力、を行う。

★令和6年度からの11人制大会に向けて、昨年度（R4）に中学校部会内に「11人制実行委員」を立ち上げ、中学校部会競技部を中心として各ブロックより次世代のリーダーを募り実際に動き始めた。今年度の活動は、「令和6年度開催地の決定」が大きな課題出る。

＝現状報告＝（鈴木競技部長）

令和6年度の開催地を早急に決める必要があるが、現時点で立候補がなく、決まっていないという報告を受ける。

＝今後に向けて＝

開催地の決定に向けて、中学校部会より各地域に願います。

(12) ジュニアユースU15日本代表チームについて・・・・・・・・・・（遠征事務局：幸田）

- ・選考会について

日 程：令和5年9月16日（土）～18日（月）

場 所：宮城県栗原市築館多目的競技場

宮城県栗原市一迫多目的広場

宿泊先：宮城県国立花山青少年自然の家

- ・スタッフについて

現在、監督（ヘッドコーチ）を中心に人選している。

- ・海外遠征の概要

グリフォンカップについて

WAは開催の方向 マレーシアは参加するということ

グリフォンカップ 11月23日（木）～26日（日）

遠征日程（現状では・・・）、11月19日（日）出発、29日（水）帰国 成田発 予定

※変更の場合あり

(13) その他

- 1) 中学校部会規約と全中内規事項・・・・・・・・・・・・・・・・（事務局）

資料 9

昨年度まで中学校部会では「この大会は学校管理下である」ということを強く打ち出し大会を運営してきた。今年度より地域クラブ活動（クラブチーム）が参加し、本大会を実施する。

当部会は、今まで通り学校の部活動として参加をする場合は、義務教育である中学校の活動である

ことが大原則であることから「学校管理下」、クラブチームについては、代表者が責任ある立場として（学校でたとえると学校長）責任を持って（保険への加入、保護者への説明責任等）大会への参加をおこなうことが重要なポイントになる。

第2章 目的

第3条「本会は（日本中学校体育連盟規約に従い日本ホッケー協会と協力して）ホッケー競技をとおして体育の振興と、中学校体育の健全な発達を図ることを目的とする。」

2) 全中大会の参加資格について（今後の検討事項）

令和5年度よりクラブチームの参加を認め全国大会を開催するが、合同チームの規定や全中への参加規定等については日本中体連と連携をしながら全体のバランスや他競技の動向も注視しながら毎年、協議、検討する必要があると考える。

連絡事項・その他

(14) 全中大会優秀選手について

選考方法の確認をし、異議なく承認される。

(15) 中学校部会 HP のアップについて

ブロック大会（全中ブロック予選）の結果を HP にアップする。

地区優秀選手（東・中・西）については、事務局で一斉にアップする。

異議なく承認される。

(16) 地区（東・中・西）優秀選手の選考～表彰ついて～（事務局）

- ・今年度も地区優秀選手を選出し、閉会式等で発表するなど選手のモチベーションにつなげられるよう各ブロックで考えていただく。選ばれた選手には「認定書」を配布する。

(17) その他

- ・常任委員会（第2回）の日程・場所の確認

令和6年2月24日（土） 場所：京都